



「電気を創って使う」これから主流になるのはこれだ！

自家消費型 太陽光発電システム

背景
1

FITの売電価格が低下

固定価格買取制度 (FIT) の売電価格が2019年度は14円/kWhに。2020年度は条件付きの調達価格となり更なる収支悪化の傾向にある。

背景
2

部材価格の低下

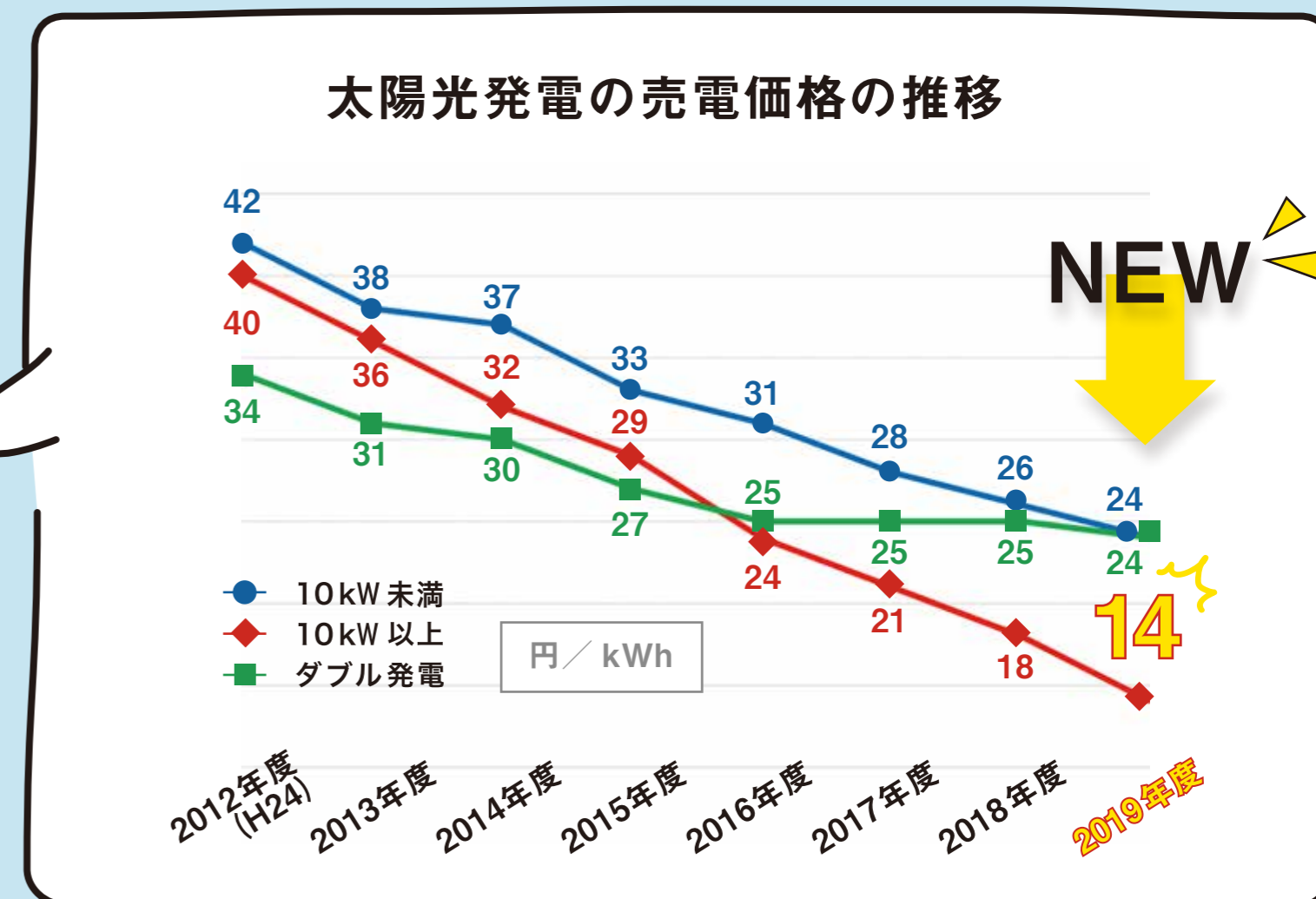
固定価格買取制度 (FIT) の買取価格低下に比例し太陽光パネル等の機器費や工事費も低下している。

背景
3

電気料金の値上げ

全国一律の単価になるよう調整された再生可能エネルギー賦課金も今後上昇を続け、電力コストの負担を強いられる事になる。

／ どうして自家消費型なの？ ／



ネミーにご相談ください



自家消費型のメリット
こんなにいいこと！



消費電力を上回らないよう
発電量を抑制し無駄を
削減し有効活用できる



発電した電気を所有
施設内で消費することで
電気料金を下げられる



経済産業省への申請が
不要なため導入までの
リードタイムが短縮できる



災害・停電対策のために
蓄電池を併用して
2次災害防止に！

さまざまな税制優遇も利用できます！